

令和6年度 第2回旭川市社会教育委員会議 議事録

日時	令和6年7月25日（木）午後6時00分～8時15分
場所	旭川市総合庁舎7階 大会議室C
出席者（委員）	岩永委員，大橋委員，金本委員，亀村委員，郡司委員，斉藤委員，佐藤委員，清水委員，鈴木委員，中島委員，猫山委員，野上委員，濱中委員
出席者（職員）	佐藤社会教育部長，田島文化ホール整備担当部長， 岩崎社会教育部次長，主藤社会教育部次長，登野社会教育部次長，熊澤社会教育部主幹，小島社会教育課主幹，坂本文化振興課長，吉川文化ホール担当課長，松里公民館事業課長，中田科学館主幹，矢萩博物館長， 山崎社会教育課主査，伊藤社会教育課職員，矢萩社会教育課職員
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
会議資料	第2回会議次第 資料1 旭川市社会教育基本計画 令和6年度 点検・評価について 資料2 社会教育関係団体への補助金交付に係る令和5年度実績と 令和6年度の申請状況について 資料3 旭川市民文化会館整備基本計画策定に係る建設地について

会議要旨

1 開会

2 社会教育部長挨拶

3 議事

(1) 旭川市社会教育基本計画 令和6年度 点検・評価について

議長	はじめに，令和6年度 旭川市社会教育基本計画 点検・評価報告書について，事務局から説明してください。
事務局	（資料1に基づき説明）
議長	令和6年度と名前がついているが，令和5年度に行った事業について評価をすることになる。5つの基本目標ごとに意見をいただくということでは，まず，基本目標1について，意見や質問はあるか。

委員	図書館の活動について、7ページ「成人期のキャリアアップ」の部分に、JICAの講演が出てくる。JICAは社会教育部の仕事とは違うと思うが、どのような講演をしているのか。他の記載と比べても不明瞭である。 青年海外協力隊はシニア世代もいる。成人期だけでなく、各世代にわたる活動にしても良いのではないか。 次に5ページの「参加者・利用者の意識」欄について、全体の割合が表記されているが、組織ごとの実績値の平均を出しているだけで、アンケートを受けた方全体の平均になっておらず、意味のない数値なので削除してはどうか。(19, 20, 27, 32ページも同様。)
事務局	JICAの講演内容は、シニアを含めた協力隊員の現地活動の体験報告。どのような役割を求められているか、海外の状況などの国際理解を深める狙いもある。 次に集計について。御指摘のとおり単純にそれぞれの割合の平均となっている。細かく計算した実績値だとよりよいが、全体の大まかな割合としてお示ししている。
委員	JICAについて、青年海外協力隊やシニアボランティアの方が活動したいと思った時に、いろいろな場で情報提供してあげられるとよいと思う。今回、図書館でしかJICA関連の講演を見なかったのも、もっと幅広く展開できたらなと思い、意見した。 集計について、やはり正確な数値とは言えないと思うが、そのまま載せるということか。
事務局	計算方法についてはそのとおりだが、今回はあくまで全体を把握するための指標として掲載したい。
委員	承知した。他の委員の判断にお任せしたい。
議長	事務局からは、大きくつかむという意味合いでの数値の出し方と説明があったが、その他良い数値の出し方もあるかと思う。何か意見があれば出して欲しい。
委員	資料内の各種折れ線グラフを見ると、来場者数等が軒並みコロナ前の水準に戻っていない。これは事業の内容を見直したものなのか、参加者の意識が戻らないものなのか、どちらで捉えているか教えて欲しい。
事務局	市民の意識が変わったことが大きな要因と考えている。 以前は対面が当たり前だったが、コロナ禍の3年間でリモートがかなり一般的になり、実際に足を運ばなくても良いという意識が生まれ

	てきていると思う。また、５類移行後の患者数が増えているといった新聞報道等から、人混みを敬遠する方もいるため、まだ来場者が戻らないと考えている。 それでも前年比で少しずつ伸びてきており、市民の意識も変わりつつあると思う。
委員	捉え方によっては方針の書き方が変わるため、確認させていただいた。今の話については承知した。
議長	成果指標の実績値の計算方法についての質問・意見はあるか。
委員	話を聞くまで、単純な平均で出していると気が付かなかった。アンケートを受けた方全体の平均を計算するのが理想だが、昨年度にこの方法で実績値を出しているの、定点観測ということになると同じ方法で出していくことになるかと思う。 計算方法の変更が、作業量も多く現実的に厳しいということであれば、ただし書として計算方法を分かるように報告するのもよいのではないか。
議長	１つの案として、ただし書の案が出た。本来的には厳密な出し方をするのが良いと思うが、事業規模がそれぞれ違うなど、なかなか難しい部分もある。 来年、再来年ともう少しこの状況で経過を見るというのも１つの選択肢だと思う。 その他、意見はあるか。
副議長	皆様の御意見、そのとおりだと感じるが、旭川市という規模を考えた時に点検・評価は行政的にかなり困難を抱えていると思う。 社会教育の評価は数値で表しづらいものがほとんど。数値だけでエビデンスを求めていくと、どうしても破綻する部分が出てしまう。 一定の数値を行政が示し、その項目について我々一人一人が意見を交流することも、この会議では重要な観点だと思う。
議長	去年、この評価のために議論をしてきたが、やはり難しい評価であると感じた。副議長の御意見を受け、その中で様々な挑戦をしていることに改めて意義があると感じた。 今回の数値に関しては少し大きくは捉えているが、この出し方で来年度も様子を見るということでよいか。 その他基本目標１について、何かあるか。
委員	数値の訂正について。９ページ「基本目標１」の「この１年間に公的機関における講座や、教室で生涯学習を行った市民の割合」２５％となっているが、１０．７％の間違いではないか。

事務局	御指摘のとおり。訂正する。
委員	今年度の評価から、成果指標の根拠として、市民アンケートと市政モニター制度を導入いただいているが、調査概要をどこかに載せるのであれば、もう少し回答者数や時期などの詳細も載ると、それぞれの制度の位置付けが分かりやすくなるので、是非御検討いただきたい。
事務局	調査概要、詳細の掲載について、検討する。
議長	検討をお願いする。 その他基本目標 1 について、質問や意見はあるか。
委員	8 ページ、「2 課題解決を支援する各種情報の提供」欄に「9 8 の講座を掲載したものを市内小中学校に配布」の旨記載があるが、高校生が対象外になっているのは何故か。
事務局	旭川市教育委員会の所管は小・中学校になり、この応援講座はそれぞれの学校の授業等で活用してもらえたらという観点からこの記載となっているが、高校への配布についても検討できたらと思う。
委員	承知した。
委員	個人的なビジョンだが、通常の教科の勉強や、それ以外の自分の目指していることに対する学習などを支援する場がもっと必要であると考えている。 大学生、高校生などが協働で何か学習をサポートできると、子どもたちも関わりを持つことで、学習以外でも自分の個性を伸ばせるような生き生きとした環境づくりができと思う。 先日参加した、全道の社会教育委員の研修会でも若い人たちがいかに事業に参画するかが重要と言われていた。これからますます若者の力が重要になってくるので、そういった活動ができるとよいと思う。
事務局	おっしゃるとおり、若者の力はすごく重要である。 今回工業高校の出前講座の内容を掲載している。その他の高校生などにも話をさせていただきながら、更なる検討をしていきたい。
委員	3 ページ、科学館のイベント参加者数のグラフについて。 増加傾向にあったグラフが、令和 4 年度から令和 5 年度にかけて減少している。これは特定のイベントの参加者が減少したのか、それとも全体的に参加者が減少しているのか、どちらか。 特定のイベントが減少しているのであれば、対策をどのように考えているのか。
事務局	令和 4 年度は特別展を実施したが、令和 5 年度は実施していないので、その影響で減少となっている。予算の都合で令和 6 年度も特別展を実施しないので、令和 5 年度並みの参加者と予想されるが、その他

	のイベントなど、少しでも増加するよう、事業を実施している。 令和４年度に恐竜の展示を行った際、親子連れがたくさん来てくれた。展示内容を職員の手作りでリニューアルしたり、今年度新たな展示を始めたりといった、参加者数増加の取り組みを行っている。
委員	質問ではなく要望になるが、資料を見ると、社会教育事業への子ども参加が少なくなっている。私は学校にいますが、子どもたちへ情報が十分に入っていないと感じる。 今学校にタブレット端末がすごく入ってきている。子どもたちが自分に必要な学びを検索し、選択できるという状況になっているが、今の旭川のまなびネットを見ると、情報が大人向けになっている。 子ども向けに情報があると、子どもたちはそういった情報を活用し、すぐに行動できると思う。 小学生は社会教育施設に関わる機会が多いが、１度関わっただけで終わってしまう。タブレットの活用が進めば、社会教育施設に行けばこういった情報が得られるといった理解が進み、イベント等への参加も増えていくと思うので、是非活用して欲しい。
事務局	貴重な御意見ありがとうございます。 確かにこれまで紙ベースの周知が中心だったが、紙の配布が難しいなどの状況も出てきている。タブレットを使用した周知も情報提供の１つの方法として、関係各所との協議を進めていきたいと思う。
委員	現在、子育てサロンという事業を公民館で行っているが、立ち上げ当初は、万が一の事故の際の対応など、いろいろなハードルがあった。 社会教育部の事業として行うのは難しいかもしれないが、その他子育て支援などの事業を行う際には、公民館事業として行って欲しい。
事務局	現在公民館事業は、児童センター等、様々な団体と連携し行っている。事業の在り方について、他の団体とも検討しながら進めていきたい。
議長	これらからの時代、子育て支援はとても重要なことだと思う。いろいろな事業展開を図り、検討を進めて欲しい。 他に基本計画１について何もなければ、基本計画２に進む。 （各委員より意見なし） 基本計画２について、何か質問や意見はあるか。 （各委員より意見なし） また後で全体を通してお聞きする。 基本計画２「学びを支える環境の整備」、少ない予算の中で本当に苦勞し進めていると思う。先ほどの科学館や、旭山動物園も人気が出

	た時には職員の手作りが1つの鍵となっていた。ということはやはり学びを活かすようなボランティアが重要。 ボランティアについて、高齢化などの問題もあるが、若い世代の発想が入るとよりよい環境になると思うので、そういった目線でも環境の整備をお願いしたい。 続いて、基本計画3について、何か質問や意見はあるか。
委員	19ページ「活動指標7」社会教育課のグラフについて、令和2、3年度の調査未実施と記載があるが、令和4年度も未実施なので列記すべきではないか。
事務局	御指摘のとおり。令和2、3、4年度がコロナ禍で事業未実施であったため、訂正する。
委員	学校でも、コロナの影響等により中止のままになっている事業が見受けられる。 基本目標3に地域人材の活用について記載があるが、これは社会教育部が人材を発掘し各団体へ紹介するのか。 現在地域では役員等の成り手が不足しており、人材の発掘が大変難しい現状がある。個人情報保護の観点からも、連絡するだけでも大変で、地域・学校・家庭の連携が非常に難しい。 このあたりをどのように打破するか、考えをお聞きしたい。
事務局	1つは「学びの応援講座」。ここで団体の紹介をしており、地域人材の活用に役立っている。社会教育課で行っている「地域学校協働活動」でも、地域の方と子どもを含めた学校との連携を図っている。 その他、企業等とも連携を図り、人材バンクのようなものもまとめていけたらと思案しているところ。 様々なアプローチで地域人材の発掘をしていきたい。
議長	よろしくをお願いしたい。 20ページ「成果指標4」ボランティア活動に参加したいと考えている市民の割合は74.2%である。何かをしたいけど、1歩踏み出せない状況があると思うので、知恵を出して、様々なアプローチをして欲しい。 それでは次に進んでよいか。 (各委員から意見等なし。) 次に「基本目標4 市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実」について、御意見や質問はあるか。
委員	基本目標4だけではなく、彫刻美術館のアンケートの未実施が目立つが、これは専門の学芸員が配置されていないことが影響している

	のではないか。 他の地域は、しっかり学芸員の配置をしていると聞いている。報告書内にも他の機関との連携について書かれているので、上手く連携しながら専門員の育成も検討して欲しい。 また、アートマルシェといったイベントにも取り組んでいただいているが、イベントだけでなく、恒常的な対策もお願いしたい。
事務局	昨年度未実施だった部分についても、今年度体制を整え実施していく予定。 専門員の育成も、現実的には難しい部分がありながらも、大きな課題の一つと認識しており、検討を進めて行きたい。
委員	川のまち旭川にはたくさんの橋があり、多くの彫刻が展示されている。それら彫刻のイメージなどの説明を、二次元コードを使い、スマホ等で見られるようにして欲しい。見る側のイメージも大きく変わる。
事務局	御意見ありがとうございます。 おっしゃるとおり、現在彫刻美術館にある作品についても詳しい説明ができていないものもあり、今年から、館内の作品から徐々に二次元コードを付けて、作品を深く理解するための工夫をしているところ。 その延長として、野外彫刻にも二次元コードを付けていきたいと思っている。
委員	テレビ番組の企画でも旭川市の彫刻が取り上げられている。観光の観点からも、何らかの仕掛けが出来ると面白いと思う。
議長	次に基本目標5について、質問や意見はあるか。 私から1点。優佳良織の織子さんが1人になってしまったという新聞記事を見た。今回の点検・評価で触れられていないので、どこかで触れてもよいのではないか。
事務局	おっしゃるとおり、現状では報告書に記載はない。 補助金を出して事業を行っているので、そのコメントの中に記載できるよう検討したい。
議長	今の織子さんがいなくなると、旭川の誇る伝統が1つなくなってしまうのでは、と危機感を覚えている。関心を持って見ていきたい。 その他基本目標5について質問はあるか。 (各委員、意見等なし。) それでは全体を通して、何か語意見、御要望あれば出して欲しい。
委員	9ページのあたりに、ICT 講座についての記載があるが、ICT のリ

	スクや危険性の教育を、社会教育の観点で、幼少期から行う必要があると感じた。 様々なデバイスの普及が進み、幼少期から自由にデバイスを使用できる環境になったが、なかなか家庭でのリスク管理の教育が進まず、いろいろな事案が発生している。 当然学校でもマナーやモラルの指導はあるが、社会教育の部分で、活用術や危険性などを早期から各家庭に発信して欲しい。
事務局	ICT はコミュニケーションの面や、瞬時に情報を得られるといった利便性もあるが、危険性も大きいものだと思う。 現在、家庭教育に関する講演等で危険性などを情報発信しているが、その他様々な機会にも発信していけたらと考えている。
委員	私は家庭教育ナビゲーターをしているが、例年開催される「まなびピア」にブースを設けて活動している。 その際、様々な団体の手作りの展示などがあり、会場に来ている子どもたちが、すごく喜んでいたのが印象に残っている。 今、ICT の話も出たが、こういったアナログなものも求められていると思うので、是非減らさずに続けて行って欲しい。
事務局	まなびピア、ステージ発表だけでなく、展示ブースも大変盛況だった。こういった活動を今後も進めていけたらと考えている。
委員	報告書を読んでいて、専門用語が分からず読みにくい部分があった。難しい用語や略語については注釈を入れるなど、もう少し分かりやすく記載して欲しい。
事務局	承知した。
議長	他にないか。なければ私から 1 点。 36 ページ、外部の学識経験者の佐々木先生の御意見が載っているが、本会議の報告書に必要なのか。社会教育委員の中にも 2 人の学識経験者がいるので、2 人に確認してもらうことではだめか。 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」を確認したが、読み取りが難しかったので、教えて欲しい。
事務局	昨年も御指摘いただいた。今年度、北海道教育委員会に確認したが、「社会教育委員を学識経験者と見なすことは想定していない。」との回答があった。 社会教育委員の皆様への確認は法律的には決まっていないが、御意見を頂戴しているところ。
議長	他市町村は、外部の学識経験者に意見を求めているのか。
事務局	他市町村は把握できていないが、道教委の回答を基に今年度は学識

	経験者に意見を頂戴した。
議長	今回佐々木先生には、いつ報告書を渡したか。
事務局	7月3日に渡した。
議長	本会議、社会教育委員の皆様から、たくさんの良い意見を出してもらった。特に今年は評価の方法が変わっているため、もう少し資料を読み取る時間が欲しい。我がまちのことなので、社会教育委員に1日でも多く資料を確認する時間を取って欲しい。
事務局	社会教育委員の皆様の確認の時間が取れず申し訳ない。 資料をまとめる作業を事前に行うなどの工夫をし、なるべく多く確認の時間を取れるようにしたい。
議長	承知した。 社会教育基本計画の点検・評価について、以上とする。 様々出た意見等を、適切に修正し教育委員会会議へ諮っていただきたい。

(2) 社会教育関係団体への補助金交付に係る令和5年度実績と令和6年度の申請状況について

議長	次に、社会教育関係団体への補助金交付に係る令和5年度実績と令和6年度の申請状況について、事務局から説明願う。
事務局	(資料2に基づき説明)
議長	ただ今の説明について、質問・意見等はないか。
委員	4ページ「その他、令和6年度に予定している社会教育関係団体への補助金について(社会教育部所管分)」について、2段目「旭川郷土芸能保存連合会」は令和5年度も申請がなかったということか。
事務局	お見込みのとおり。 コロナ禍や、団体の高齢化の影響で、活動が困難になっている。 連合会とどういった保存伝承活動を行っていくか協議しているところだが、現状、補助申請には至っていない。
委員	ここで記載されている「未申請」、申請がなければそもそも対象者としても記載されないと思うが、どういった経過か。
事務局	予算措置の段階で計上しているため記載しているが、団体からは未申請であるという状況。
委員	状況は理解したが、矛盾を感じるため、ただし書などで説明する必要があると思う。
事務局	おっしゃるとおり。 この後申請が来る可能性はあるが、注釈を加えたり、調整中など分

	かりやすい文言への修正を行う。
委員	予算措置の段階で、申請団体の確認はしていないのか。
事務局	団体による。令和５年度は「旭川郷土芸能保存連合会」への確認はしていない。
議長	承知した。 社会教育関係団体への補助金について、異議なしでよろしいか。 それでは事務を進めて欲しい。

(3) 旭川市民文化会館整備基本計画策定に係る建設地について

議長	議事(3)旭川市民文化会館整備基本計画策定に係る建設地について、報告願う。
事務局	(資料３に基づき事務局から説明)
議長	何か質問・意見等はあるか。
委員	まず建設地の場所を決めて、収容人数等を決めていくのか。若しくは旭川で開催されるイベントの収容人数等から採算性を考慮し、建設地を決めるのかどちらか。
事務局	今後、検討会や利用者の意見を伺いながら、各データを基に席数などを検討していくが、まず建設地を決めることで、ホール数などの大まかなキャパシティを考えることができるようになるので、その条件を確認しながら収容人数等の詳細を検討していく。
委員	本議題について、基本計画策定検討会でも検討されているようだが、本会議で意見をしても反映されるのか。単に要望として受けとめ、終わってしまうのか。本会議の位置付けを教えて欲しい。
事務局	本会議では、検討会の中で妥当ではないかと意見の出た建設地を報告させていただいた。 建設地の決定に際しては、検討会以外にも様々な場所でヒアリングを行っており、本会議でいただいた御意見についても、今後の検討材料とさせていただき、市で決定していきたい。
議長	以前にも同様の質問をさせていただいた。 社会教育の大きな事業であるため、本会議で出た意見についてもしっかり受けとめていただきたい。 他に何か意見等はあるか。なければこれで議事を終了する。

4 その他

5 閉会